

令和3年 黒部市教育委員会4月定例会 議事録

日時 場所	令和3年4月28日(水) 午後1時30分～午後2時50分 黒部市役所201会議室
出席者	教育長 中 義文 教育委員 加藤 昌弘 (教育長職務代理者) 教育委員 雪山 俊隆 教育委員 泉 博美 教育委員 紙谷 真紀 教育部長 高野 晋 学校教育課長・学校給食センター所長 林 茂行 スポーツ課長 橋本 正則 図書館長 寺林 佳子 学校教育班長 平田 恩 こども支援課長 島田 恭宏 学校教育課主幹 舘野 敬子 生涯学習文化課主幹 幸林 理恵 学校給食センター主幹 松平真由美 学校教育課長補佐 前林 丈雄
傍聴人	なし
	(会議冒頭「市民憲章」朗唱)
事務局	(冒頭に令和3年4月1日付け人事異動に伴う事務局職員自己紹介を実施…略)
教育長	只今から、黒部市教育委員会4月定例会を開会します。「議事録の署名について」は、私が署名します。次に、「3月定例会の議事録」について、訂正・質問等がありましたらお願いします。
委員	(質問なし)
教育長	特にないようでありますので、記載のとおりとして議事録に署名することとします。 次に教育長報告をいたします。 1 所管事業の状況報告について(行事等) (1) 4月18日(日) 東京オリンピック100日前イベント「エブリバディ スポーツデイ2021」(総合体育センター) (2) 4月18日(日) 明日の稚児舞(法福寺) (3) 4月25日(日) 黒部で第九を歌う会 第14回名水の里ドイツ・レクイエムコンサート(コラーレ) 2 出席した会議等の概要報告について (1) 3月26日(金) 令和2年度第2回黒部国際化教育推進協議会(市役所201・202) (2) 4月12日(月) 年度当初小中学校長会議・研修会(市役所203) (3) 4月12日(月) 黒部踊り街流し実行委員会(市民会館) (4) 4月16日(金) 令和3年度第1回市町村教育委員会教育長会議(県民会館)

- 3 所管事務に関する問題・情報等について（児童・生徒の安全・安心に関すること）
〔前回会議以降、今回会議までの間〕
- (1) 児童・生徒の交通事故等
 - 交通事故（なし）
 - その他の事故等（1件）
 - (2) 不審者情報等（2件）
 - (3) 鳥獣出没情報（なし）
 - (4) いじめの認知件数及び指導の経過（3月報告分）
 - ①小学校（新規認知件数1、指導中2、見守り中1、解消4）
 - ②中学校（新規認知件数1、指導中1、見守り中1、解消0）
 - (5) 令和3年度在籍児童・生徒・園児数（令和3年4月1日現在）
 - ①小学校 児童数2,034人（前月比12人減）
 - ②中学校 生徒数1,074人（前月比32人増）
 - ③幼稚園 園児数 53人（前月比10人減）※こども園含む

教育長

以上、教育長報告としますが、質問がありましたらお願いします。

委員

二点質問したいと思います。まず一点目ですが、4月16日に開催された市町村教育委員会教育長会議でも話題が出たかもしれませんが、黒部市教育委員会の考え方を確認したいと思います。35人以下学級について、物理的な制約というか、空き教室や余裕教室があるかどうかにも関わるかとは思いますが、黒部市としてはできるだけ35人以下学級を取り入れたいという考えなのか、それとも、やはり、学校には余裕の教室なり、そういったものが必要であるという考えから、35人以下学級を見合わせるという考えもあると思うのですが、どちらになるのでしょうか。

教育長

少し説明に不十分なところがあったかもしれませんが、35人以下学級については、本県は全国に先駆けて2年間前倒ししており、全国の小学校はいずれ全て35人以下学級になりますので、したがって、本市だけが40人以下学級にするといったことではありません。全国では、今年度から小学校1年に加えて2年生までが35人以下学級です。本県では、もう既に小学校1年、2年は35人以下学級となっており、そして3年生か4年生のどちらかを35人以下学級としてもよいとなっています。今年度は、4年生まで全て35人以下学級としますので、今後、令和4年度、5年度では、小学校6年まで全て35人以下学級になります。35人以下学級は今まで少人数学級と呼んでいたものです。ただし、一方では、少人数指導という、例えば38人在籍していても1学級として、先生が2人できめ細かな指導ができるといったような少人数指導もありました。各制度のよいところを取り入れ、担任は全て配置してもらい、さらに加配教員として複数体制で指導できるような教員を配置してほしいといったことができるのか、若しくはどちらの制度を主とするのかということです。中学校では専科という教科ごとの担任ですが、小学校も、現在、富山県では教科ごとの担任として進めていく準備をしており、移行期となっています。本市の中でも、既に小学校に英語専科、理科専科といった形で在籍しています。音楽専科も在籍しています。今後、教員の総数が決まっている中で、どう配置できるか、そこが非常に難しいところです。大学を卒業して、教員を目指す学生が、全ての教科をバランスよく受験するわけではなく、特定の教科が全く足りないといったことがあります。以前にありましたが、国語の免許を持つ教師が足りないといった、信じられないような状況がここ数年見受けられます。色々な状況を見ながらの配置になると思います。

委員

小学校において35人以下学級が年度ごとに進んでいくことは分かるのですが、その時に、黒部市の場合は、小学校では、先ほど物理的と言いましたが、教室の確保はしっかりとできているのでしょうか。できていない学校は、プレハブ等を増設するといったことがあるのか、その辺の見通しはどうなっているのでしょうか。

教育長

国や県の流れは先ほど説明したとおりですが、教室の数については、まだ正直なところ、増設するのか、ある部屋を改修して教室仕立てにするのか、まだ具体的にはなっていませんが、今後、それらを視野に入れながら考える必要があると思っています。今の見込みで行くと、中学校の1年生も35人以下学級の適用であり、今年度の清明中学校は、通常であれば普通教室が15であるところ、16学級となったために、一つ普通教室に転用しています。小学校では、一応、35人以下学級が全学年であっても足りないというところはありません。今後の推移を見たときに、どの時点で、どの学校の教室が不足するのか、それもしっかりと考えた上で事前に対応しながら進めたいと思います。いずれにしても、35人以下学級の対応はしなければならないと考えています。

委員

長い目で見ると、例えば清明中学校では、6クラスになっているとのことですが、選択制なので5クラスでもよいところを敢えて6クラスにされたとのこと、その結果、余裕教室がないという現実的な面を、教育委員会としてはどう考えていますか。

教育長

清明中学校と明峰中学校の今年度の1年生を比較すると、清明中が181名、明峰中が175名となっています。本来は40人以下学級ということであれば、両校とも40人で割ってみると5クラスとなります。しかし、中学校1年生についても35人以下学級を選択するか、あるいは40人以下学級を選択するかのどちらかとなります。黒部市の場合は、学校によっては、その時の状況により、際どい人数であるため、35人以下学級とするか、40人学級とするか、色々と考えられる場合がありましたが、選択制が導入されてからは、全て35人以下学級を選択しています。今回も、明峰中の175名という人数は35人で割ると、丁度5クラスとなります。清明中は40人以下学級として、明峰中は35人以下学級とする案も考えましたが、本市で中学校が2つある中で、一方が40人以下学級、もう一方が35人以下学級とするのは、保護者に対しても、色々な意味で心配をかけたり、疑念を抱かせることが危惧され、今まで揃えてきた35人以下学級としました。また、ここに至るまで、指定校変更の適切な運用等に努めてきたところです。

委員

私が少し心配しているのは、清明中学校1年生が181人で35人以下学級6クラスになりましたが、来年度以降を見ると、また生徒数が多くなるのではないかと思います。現時点で、1年6クラス、2年5クラス、3年5クラスで、15クラスから教室を一つ増やして16クラスとしたところ、来年度は、6クラス、6クラス、5クラスの17クラスになる可能性があり、そうなった場合の対応をどのように考えているのでしょうか。また新たに教室を作る必要があるのか、あるいは40人以下学級とするのか、どのようになるのでしょうか。

教育長

今回の取扱いにあたって、私の認識では、来年度は、6クラス、6クラス、5クラスになることはない判断して取り組みました。しかしながら、色々な人口の出入り、転出入等がありますので、常に注視する必要があると思っています。

委員

清明中の校区にある小学校6年生の児童数を数えてみて、気になりました。

教育長

先ほど指定校変更の話をしたのですが、中央小の児童が清明中と明峰中に分かれるので、住所地の関係があるかと思っています。現在の推測では来年度は1年生が6クラスにならないと判断しています。

委員

ぎりぎりの悩ましい選択になったのではないかと思います。分かりました。次に、二点目ですが、不審者情報等について市内小中学校に再度注意喚起を行ったとのことですが、市内の全学校でしょうか、それとも近隣の学校でしょうか。また、その手段は、メール、電話、FAX等のいずれでしょうか。そして、学校の対応はどのようになされたのでしょうか。この辺を聞かせてください。

学校教育班長	連絡に関しては、市教育センターからメール、FAX等で市内の小中学校全てに連絡をしています。それを受け、各学校から、各家庭に向けて、メール発信し、注意喚起を行っています。また、児童生徒に対しても、帰りの会等で指導をしているという状況です。
委員	具体的な指導としては、防犯ブザーを鳴らすようにといった指導を行っているのでしょうか。
学校教育班長	「イカのおすし」の標語を用いて、児童生徒と改めて確認を行っています。 ※『イカのおすし』 子どもが犯罪に巻き込まれないための約束事をまとめた防犯評語。怪しい人に付いて「イカ」ない、車に「の」らない、「お」おごえ（大声）をあげる、「す」ぐ逃げる、誰かに「し」らせる、を略したもの
委員	4月は入学したばかりの子どもたちがおり、特に小学校ですが、具体的に、丁寧に、繰り返し指導をしてもらえたらと思います。
教育長	防犯ホイッスル等を地区振興会からいただく場合もありますが、ただ持っているだけではなく、しっかりと活用できるようにする必要があると思います。ありがとうございます。 ほかに何かありますでしょうか。(なし) 次に、「5 報告」に移ります。はじめに、「報告第1号 黒部市立公民館長の任命について」報告願います。
生涯学習文化課主幹	(生涯学習文化課主幹 説明)
教育長	質問がありましたら、お願いします。(なし) 次に、「報告第2号 黒部市教育支援委員会委員の委嘱について」報告願います。
学校教育課長	(学校教育課長 説明)
教育長	質問がありましたら、お願いします。(なし) 次に、「報告第3号 黒部市学校評議員の委嘱について」報告願います。
学校教育課長	(学校教育課長 説明)
教育長	質問がありましたら、お願いします。
委員	学校評議員の委嘱について、2年の間、質問をしてきましたので、教育長から説明してもらいたいと思います。
教育長	学校評議員について、メンバーが本当にこれでよいのかということ、2年間、会議の席上でもご意見をいただきました。これでよいのかというのは、この方々が駄目ということではなく、学校評議員は何をする会なのか、学校の応援団ということは分かるが、時には、学校の方向性について、色々正したり、そういったこともあるのではないかと。そうであれば、何か身内ばかりで固めている学校もあるのではないかと。PTA会長が評議員に入ればよいのか、PTAはPTAとして、学校と一緒に、PとTということで組織をもっているわけです。それでは、評議員会にPTA会長が入ればよいのかということ、会がより活性化する、学校の応援団になることにつながるのかという指摘であったと思います。今回、何とかならないかということで、各校長に話をしました。特

に他の委員からも、一見したときに、統合した中学校で統合前の学校間のバランスが取れていないと疎外感のようなものが感じられるとの意見もありました。そのため、具体的には、清明中学校では、田家公民館長、大布施公民館長、人権擁護委員、PTA副会長、主任児童委員となっています。学校評議員は8名以下となっていますので、統合から1年目、2年目位は、例えば、東布施、田家、石田、大布施、生地、村椿の各地区からというように2年位は意識してみるといった形も取れるのではないかと、統合したということもあり、そういったことを考えてほしいと言いました。今回、結果的に、報告した内容となっています。ただし、教育委員会が委嘱することから、今後も、人選について有識者に入ってもらふことや地域バランスを考慮するよう話していきたいと思えます。さらに、この先には新たな制度が始まることとなっています。学校評議員制度から新しい制度に変わると、教員の人事にも意見できるようになります。どこまで対応できるかは別として、制度上は可能になります。そうすると、今の人選が悪いということではないのですが、本当にこのメンバーでよいのかという問題があります。1年生の担任はこの教諭でよいのか、体育担当はこの教諭でよいのか、といったことに意見を出せるのかということ。そのため、こういった点に意見を出せる有識者を1名加えるといったことが今後求められてきます。根拠となる法律が変わってくるので、次に向けての準備をしていこうと考えています。また、今回については、もう少し中身に踏み込めればよかったのではと思っています。

委員

教育長の説明で、先を見通した指導というか、校長会で話をしてもらってよかったと思うのですが、私が感じているのは、例えば、学校評議員を依頼するときに、学校として、学校評議員制度を通じて、どのような事柄に対応したいと思っているのか、こういったことを、考えてほしいと思っています。メンバーだけではなく、その中身が大事だと思えます。その点を、教育委員会から知らせてほしいと思えます。また、そのための様式があってもよいのではないかと思います。例えば、生徒指導で困っている学校がある場合は、果たしてPTA会長、自治振興会長、公民館長等がメンバーでよいのか、決して悪いと言っているわけではなく、学校が悩んでいることに対して意見を出せるかどうかを考えたときに、やはり、黒部警察署の署員や駐在所の署員、児童相談所の職員、カウンセリングを専門にしている方等をしっかりと人選して、学校の悩みを聞いてもらい、参考になる意見があれば取り入れていく、そして学校運営に反映していくことが学校評議員制度の本当の狙いであると思えます。そう考えたときに、現在の名簿を見ると、何か地元の有志の宛て職になってしまっているように感じてしまいます。それが何だか勿体ないことだと感じられ、市の予算を投入して取り組んでいることですので、中身の濃い学校評議員制度となるように努めてもらいたいと思えます。教育長、どうかよろしくお願いします。

教育長

ご意見ありがとうございます。今言われたことを大事にしながら、また学校に働きかけながら、差し迫った新しい制度への移行がスムーズに進むようにしたいと思います。ほかに何かありますでしょうか。(なし)
次に、「報告第4号 令和3年度一般会計4月補正予算(教育委員会関係)の概要について」報告願います。

教育部長

それでは、「報告第4号 令和3年度一般会計4月補正予算(教育委員会関係)の概要について」ご説明します。4月21日に臨時議会が開催されました。予算関連としては、新型コロナウイルス感染症対策として、全額がそれらの経費として計上されたところです。教育委員会関係として3件の事業があり、議決を受けたところです。まずは、生涯学習文化課所管で総務費となる「社会教育施設等感染症対策事業」として77千円を計上しています。これは、吉田科学館における空気清浄機能付の冷温風機の購入となります。次に、スポーツ課所管で総務費となる「ホストタウン感染症対策費」として47,938千円を計上しています。これは、本年7月上旬から2週間余りの期間、アーチェリーインド代表の事前キャンプを受け入れるにあたり、富山県ホストタウン等新型コロナウイルス感

感染症対策補助金の第1回交付に基づくものとして、選手団のPCR検査、宿泊施設や移動バスの借り上げ等のための運営補助金を交付するものです。次に、図書館所管で総務費となる「社会教育施設等感染症対策事業」として2,079千円を計上しています。これは、黒部館と宇奈月館に各1台、図書除菌機を購入するものです。説明は以上です。

教育長

質問がありましたら、お願いします。(なし)
次に、「報告第5号 課等の事業報告(経過・予定)について」報告願います。

学校教育課長

〔経過事業〕

- 4月12日 年度当初小中学校長会議・研修会
- 4月16日 令和3年度第1回市町村教育委員会教育長会議
- 4月22日 東海北陸都市教育長協議会定期総会及び研究大会(福井大会)
(~23日) → 書面表決

〔予定事業〕

- 5月10日 教育委員会教育委員任命書交付式
- 5月10日 教育委員会5月臨時会(組織会議)
- 5月10日 学校訪問:通常訪問研修(清明中学校) ※以後、各校で実施
- 5月19日 黒部市奨学生審査委員会
- 5月25日 教育委員会5月定例会

生涯学習文化課長

〔経過事業〕

- 4月12日 黒部踊り街流し実行委員会
- 4月18日 明日の稚児舞
- 4月25日 黒部で第九を歌う会 第14回名水の里ドイツ・レクイエムコンサート

〔予定事業〕

- 5月14日 令和3年度立山黒部ジオパーク支援自治体会議総会
- 5月20日 尾山の七夕流し・中陣のニブ流し調査委員会

スポーツ課長

〔経過事業〕

- 4月18日 東京オリンピック100日前イベント「エブリバディスポーツデイ2021」
- 4月22日 KUROBEアクアフェアリーズ2020-21シーズン報告会

(予定事業)

- 5月12日 第16回市民体育大会 第1回常任・専門合同委員会
- 5月13日 第1回東京2020オリンピックホストタウン・聖火リレー事業黒部市実行委員会
- 5月22日 黒部市ホストタウンPRイベント
「Indian Movie Festival(インドムービーフェス!!)」
- ※「東京2020オリンピック聖火リレーの出発式及びミニセレブレーションの実施について」説明(6月3日開催予定)

図書館長

〔経過事業〕

- 4月1日 「今、ここにあるリアル」(~30日)
- 4月1日 「時間がないあなたに ショートショート~短編小説~」(~23日)
- 4月27日 「おいでよ!図書館どうぶつ園」(~5月23日)
- 4月27日 「日本列島を走る!鉄道小説・鉄道の本」(~5月30日)

〔予定事業〕

- 5月1日 「あの山この山」(~30日)

学校給食センター所長

〔経過事業〕

- 4月 6日 1学期学校給食開始(中)
- 4月 7日 1学期学校給食開始(幼・小)

〔予定事業〕

- 5月調整中 学校給食会総会

こども支援課長

〔経過事業〕

- 4月 2日 始業式(生地こども園・石田こども園)
- 4月 5日 入園式(生地こども園・石田こども園)
- 4月 6日 始業式(さくら幼稚園)
- 4月 9日 入園式(さくら幼稚園)
- 4月14日 五十里農園じゃが芋植え(さくら幼稚園)
- 4月16日 クラス別懇談会(～20日)(石田こども園)
- 4月20日 サッカー教室(さくら幼稚園)
- 4月21日 クラス別懇談会(～23日)(生地こども園)
- 4月22日 サッカー教室(さくら幼稚園)
- 4月26日 クラス別懇談会(～28日)(さくら幼稚園)

〔予定事業〕

- 5月20日 学校訪問:通常訪問研修(さくら幼稚園)
- 5月26日 遠足(年中児)(石田こども園)
- 5月27日 学校訪問:通常訪問研修(生地こども園)
- 5月27日 遠足(年長児)(石田こども園)

教育長

各課等の事業報告について質問がありましたら、お願いします。

委員

一つ確認したいことがあります。先ほど、スポーツ課から聖火リレーの説明がありました。個人的にも、また教育委員として聖火リレーに関しては強く応援しているところであり、「ぜひ」という気持ちはあるのですが、先ほどの説明で、体育館のメインアリーナの中に1,000名程の人数の生徒が入ることになるのでしょうか。この1,000名近くが入るといことについて、コロナの収束状況がよく分からないので何とも言えませんが、最悪の場合も想定しているのでしょうか。感染症対策とあわせて、もう少し詳しく教えてほしいと思います。

スポーツ課長

現状では1,000名程度になりますが、使用場所としては2階のスタンドもあります。スタンドと下のフロアを使用しますので、間隔的には約1mから2m離れた密にならない状態とし、また直前まで換気をするなどの対策を考えています。ただし、この後どうなるか分かりませんので、場合によっては、急遽中学3年生のみの参加とするなど、様々なシミュレーション上の想定として考えていますが、できれば小学生も参加してもらいたかったところであり、現在の計画で実施できればと考えています。

委員

感染状況をチェックしてもらいながら、私は2年間応援していたこともあり、ぜひ実施してもらいたいと思います。コロナの発生という厄介な状況であり、大変神経を使われるとは思いますが、保護者の理解も得る必要があると思います。

スポーツ課長

先ほど触れませんでしたでしたが、例えば、清明中学校の生徒は近いので徒歩移動をお願いしますが、明峰中学校はバス移動となり、本来は12台で足りるところを24台配車することとしており、定員の1/2、50人乗りであれば25人とする運用を予定しています。もちろん学校でも当日の出発前に体温等のチェックをお願いするとともに、会場入口で

も検温チェック等を行います。しっかり対応していきたいと思ひます。

委員

よろしくお願ひします。

教育長

感染症対策を十分に行うのはもちろんですが、直近の感染状況による判断もあると思ひます。なお、教育委員の皆様にはぜひ出席いただければと思ひます。

ほかに何かありますでしょうか。(なし)

次に、「6 連絡事項等」についてお願ひします。

学校教育課長

(今後の日程について確認)

○教育委員会5月臨時会 【日時】 5月10日(月) 午前9時30分
【会場】 203 会議室

○教育委員会5月定例会 【日時】 5月25日(火) 午後3時00分
【会場】 201 会議室

※例年同日午後6時から、教育委員会歓送迎会を開催しているため、開会時間は午後3時とするが、歓送迎会の開催は未定

教育長

事務局から日程等について説明がありましたが、委員には日程調整をよろしくお願ひします。

これで、本日予定してました協議事項等は終了しました。最後になりますが、本4月定例会をもちまして、加藤教育長職務代理者におかれては、最後の出席となります。

(教育長挨拶…略)

(花束贈呈…略)

(加藤教育長職務代理者挨拶…略)

教育長

以上で、本日の会議を終わります。ありがとうございました。

上記、議事録の正確なることを証するために、次に署名する。

令和3年5月25日

署名人 黒部市教育委員会 教育長 中 義 文